

アメニティリモコン(型式PC-2H2)

据付点検要領書

リモコンスイッチを据え付ける前にこの据付点検要領書をよくお読みのうえ、リモコンスイッチを正しく据え付けてください。

本書はアメニティリモコン用です。組み合わせられる室内ユニット付属の据付点検要領書も合わせてご参照ください。

お願い: この書類は次の工事をされる方へ必ず引き継いでお客様に保存してもらってください。





(搬入据付工事) → (配管工事) → (配線工事) → (試運転) → (お客様)

はじめに


この製品は国内一般空調用エアコンのリモコンスイッチです。


- 次のような場所への設置はしないでください。ガスや油の飛沫が周囲に溜まると発火、火災および機器の変形、腐食、破損の原因になります。
 - 油(機械油も含む)の飛沫・蒸気の多い場所。○温泉地などの硫化ガスの多い場所。
- 次のような場所への設置はしないでください。腐食の原因となることがあります。
 - 海岸地帯の塩分の多い場所。○酸性またはアルカリ性の雰囲気のある場所。
- 電磁波を発生する医療機器などを使用するときは、エアコンの誤動作防止のため、電磁波の発信面をリモコンスイッチに直接向かわない位置に据え付けてください。
 - 電磁波の空中伝播の影響を避けるため、電磁波を発信する機器、ラジオなどはエアコンより少なくとも3m以上離してください。


安全のために必ずお守りください。

- ご使用前にこの「安全のために必ずお守りください。」をよくお読みのうえ、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は「 警告」、「 注意」に区分していますが、誤った据え付けをした時に、死亡および重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「 警告」の欄にまとめて掲載しています。しかし、「 注意」の欄に掲載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。いずれも安全に関する重要な内容を掲載していますので、必ずお守りください。
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの方法を説明してください。またこの据付点検要領書は取扱説明書とともにお客様で保管頂くように依頼してください。





【記号の意味】

 警告: 警告表示です。作業を誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定できる場合を示します。






 : 強制事項を示します。特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示です。

 : 禁止事項を示します。

/// 据付について ///

	● 据付工事はこの据付点検要領書に従って確実に行ってください。据付に不備があると感電、火災およびリモコンスイッチ落下によるケガの原因になります。	
警告	● 据付はリモコンスイッチの重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度不足や取り付けが不完全な場合は、リモコンスイッチの落下によりケガの原因になります。	
	● 可燃性ガスの発生、流入などの恐れがある場所には据え付けしないでください。発火および火災の原因になります。	

/// 電気工事について ///

	● 電気工事をするには資格が必要ですので、資格のあるお店に依頼してください。ご自分で電気工事をされ不備があると、感電の原因になります。	
警告	● 電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付点検要領書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。	
	● 室内ユニット-リモコンスイッチ間の配線は所定のケーブルを使用してください。ケーブルの誤選定は火災や感電の原因になります。	
	● 電気配線作業、点検などでサービスカバーやリモコンスイッチの制御基板を取り外す時には電源を完全に切ってから行ってください。感電の原因となります。	

□はチェック用です。点検を完了したものにチェックマーク☑を入れてください。

1. 搬入据付工事

【据付場所の選定】

□1) リモコンスイッチの取付場所は、エアコンの運転操作に便利な場所をお選びのうえ、お取り扱いになるお客様のご了解を得て決めてください。次の場所には取り付けしないでください。

○子供の手が届く場所。○エアコンからの吹出し風が直接当たる場所。

○油の蒸気がある場所や、油が飛び散る場所。○湿気の多い場所。

特にリモコンサーモ機能を使用される場合は、下記を考慮して据付場所を選定してください。

○部屋の平均的な温度が感知できる場所。○直射日光が当たらない場所。○近くに熱源がない場所。

○ドアの開閉などによる外気の影響を受けない場所。

□2) 病院などの電磁波を発生する医療機器を使用される場所に据え付ける場合には、下記の点にご注意ください。

○電磁波放射器の発信面が直接ユニット本体の電気品箱、およびリモコンケーブル、リモコンスイッチに対向しない位置に据え付けてください。

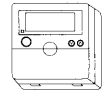


○電磁波を発生する機器との距離は少なくとも3m以上離してください。

○リモコンスイッチを鉄製の箱に、またケーブルを鉄製のコンジットパイプに収納し、シールドするようにしてください。

○ユニットの電源にノイズが発生している場合にはノイズフィルタを取り付けるなどの処置が必要です。

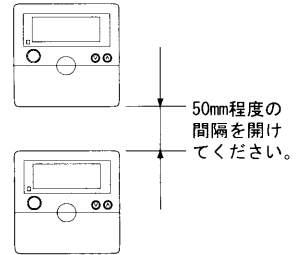
【据付の前に】

□ 1) 右記部品が梱包されていますので、据付前
にご確認ください。

名称	リモコンスイッチ	木ねじ	リモコンケーブル
形状			
個数	1	2	1
用途	運転制御用	取付ベース固定用	接続用

【据付時のリモコンスイッチの間隔】

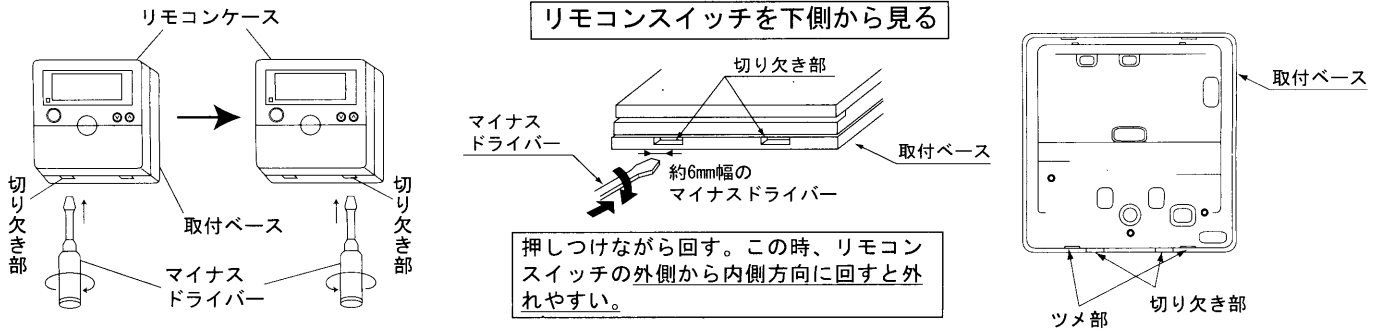
□ 1) リモコンスイッチを縦方向に並べて据え付け
る時は、上下方向の取り付け間隔を 50mm 程
度開けてください。



隙間なく据え付けた場合、リモコンスイッチのフタの開く角度が狭くなります。

【据付要領】

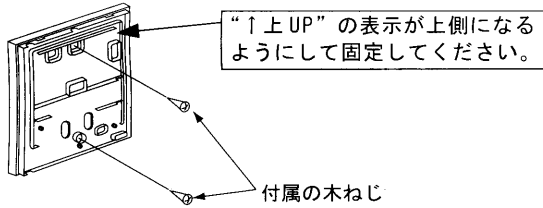
□ 1) リモコンケースから取付ベースを取り外します。取り外し方はリモコンスイッチの
下側にある2個所の切り欠き部にそれぞれマイナスドライバーなどを押しつけなが
ら回転させて外します。下図を参考にしてください。
取付ベースを取り外す際、2個所の切り欠き部の近くにあるツメ部にマイナスドラ
イバーを差し込むと、ツメ部が破損し取付ベースにケースが付かなくなります。



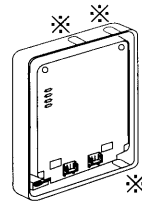
□ 2) リモコンスイッチは、下記手順にしたがって取り付けてください。

A. リモコンケーブル露出の場合

① 下図を参考にし取付ベースを壁面に取りつ
けてください。

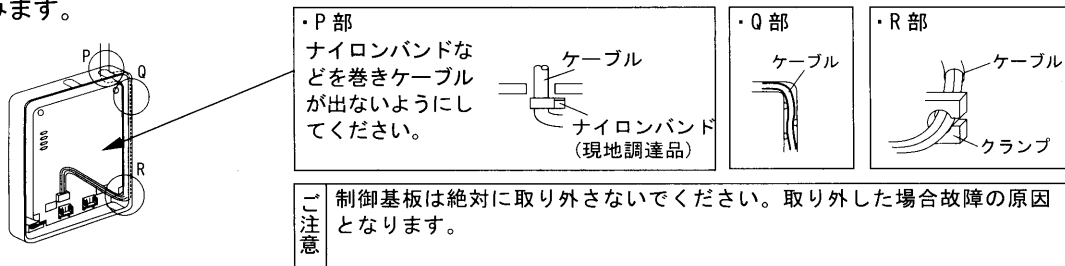


② ケーブルの取出方向を決め、ケースにロックアウト
を開けます。

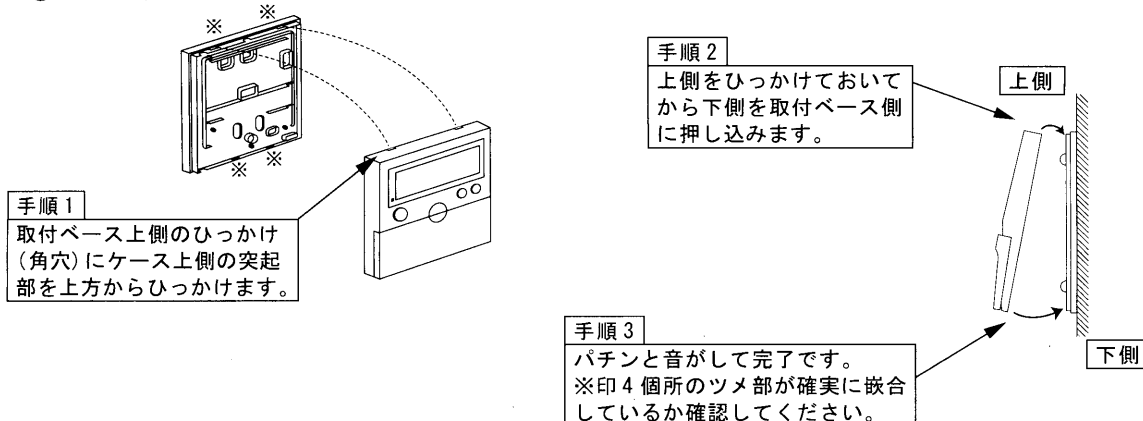


※印3個所からリモコンケーブルを
取り出すのに便利な位置を選び、
カッターナイフなどでロックアウト
穴を切ってください。ロックアウト
穴は二重になっており、内側の穴が
リモコンケーブル用です。

③ リモコンケーブルを取り出し口までケースの裏側の溝に沿って通し、リモコンスイッチの制御基板のコネクタに
差し込みます。

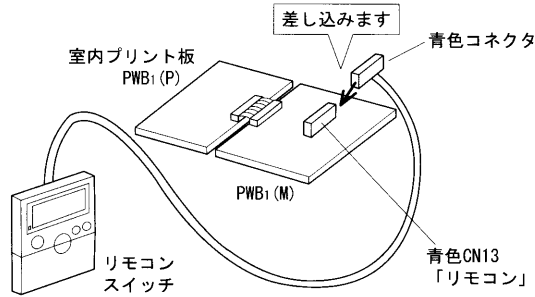


④ 取付手順

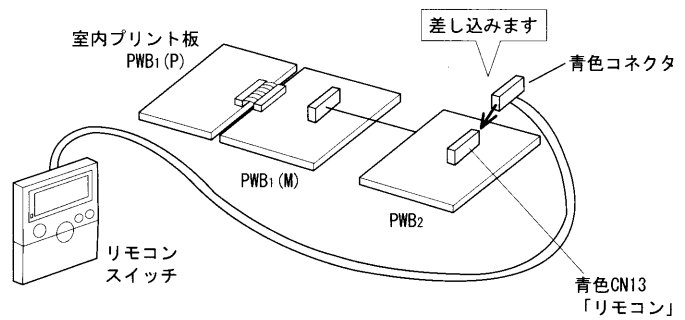


2. 配線接続要領

□ 1) (1) 標準接続 (RCIS を除く全機種)

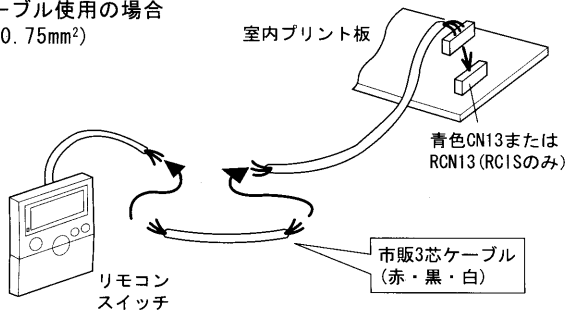


□ 1) (2) 標準接続 (RCIS のみ)

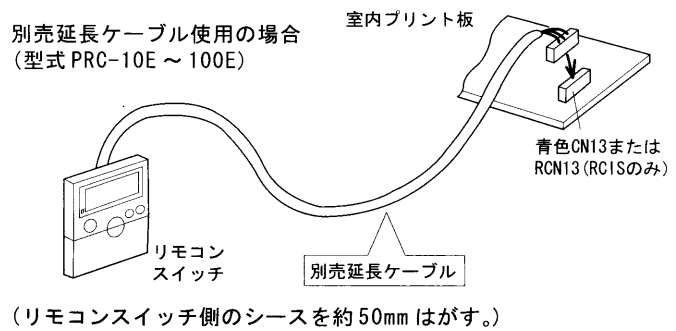


□ ★ ケーブルの延長

市販ケーブル使用の場合
(0.3 ~ 0.75mm²)



別売延長ケーブル使用の場合
(型式 PRC-10E ~ 100E)

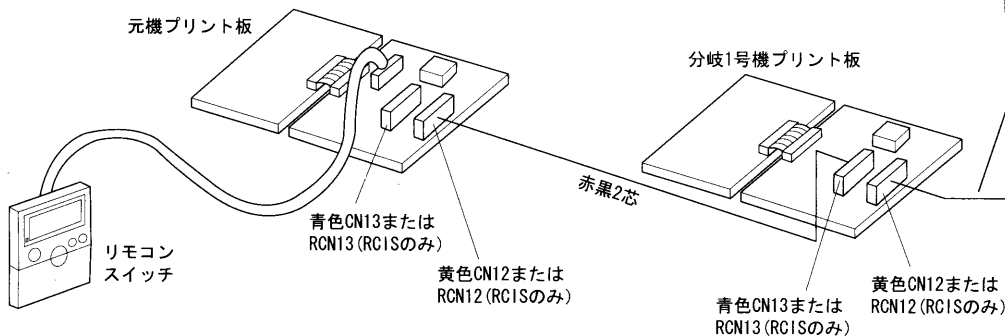


□ 2) リモコンスイッチ1個で、複数(最高16台)のエアコンを同時に制御する場合

型式	長さ (m)	仕様	連絡窓口 (発注先)
PRC-10E	10	別売延長ケーブル 仕様 外径φ1.32 (φ0.18x12本) 青色 (3P用) 外径φ5ベージュ色 黄色 (3P用) エアコン室内 / 全熱交換器・ロスフリープリント板 (青色CN13またはRCN13) ・コネクタ: 日本圧着端子製 EHP-3 コネクタ 3Pメス 1 2 3 芯線色 赤 黒 白 ・リモコンスイッチ側 ・エアコン室内 / 全熱交換器・ロスフリープリント板 (青色CN12またはRCN12)	最寄りの 日立アプライアンス(株) 各支店
PRC-15E	15		
PRC-20E	20		
※PRC-30E	30		
※PRC-50E	50		
※PRC-75E	75		
※PRC-100E	100		

※印の型式のものは受注生産品となります。

別売延長ケーブル、または市販の0.3 ~ 0.75mm²のケーブルを使用



注意

- 市販のケーブルを使用する場合は上図の仕様と同じにしてください。
- ケーブルの総延長は0.3mm²ケーブルの場合200m以下としてください。

ご注意

- 誤接続するとリモコンスイッチが破損する可能性があります。
- リモコンスイッチに電源を入れた状態でリモコンケーブルを切断すると、リモコンスイッチが破損する可能性があります。リモコンケーブルを切断する際は必ず電源を落としてから行ってください。
- 異なった室外ユニットに接続された室内ユニットを「□2) リモコンスイッチ1個で、複数台(最高16台)のエアコンを同時に制御する場合」に示すような配線を行った場合、自動アドレス機能は無効となります。(自動アドレス機能は同一室外ユニットに接続された室内ユニットの場合のみ有効になります。)この場合、「□3) ロータリースイッチの設定」を参照して、ロータリースイッチ (RSW) による号機の設定を行ってください。

□3) ロータリースイッチの設定

各室内ユニット電気品箱内プリント板上のロータリースイッチ(RSW)を下図のように確実に設定してください。
(工場出荷時は、元ユニットの設定です。)

	元ユニット	第1ユニット	第2ユニット	第3ユニット	第4ユニット	第5ユニット	第6ユニット	第7ユニット
ロータリースイッチ設定								
	第8ユニット	第9ユニット	第10ユニット	第11ユニット	第12ユニット	第13ユニット	第14ユニット	第15ユニット
ロータリースイッチ設定								

□4) リモコンケーブルの室内ユニット内部および電気品箱への配線については、室内ユニット付属の据付点検要領書を参照して配線してください。

3. 点検要領

□1) 電源を入れる

全ての室内ユニットの電源を入れてください。

□2) 自動アドレス機能を有する機種の場合、自動アドレスが行われますので3分程お待ちください。
(設定状況により5分程度必要とする場合もあります。)

□3) 試運転モードにする

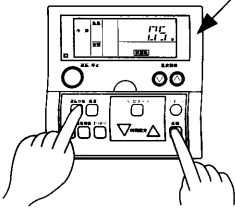
運転切換

スイッチと

点検

スイッチを

同時に3秒間押し続けると試運転モードになります。



★液晶に「試運転」が表示されます。

★総接続台数が液晶に表示されます。

5台接続の例

05台

● 接続した室内ユニットの総台数が、液晶部に表示されます。

(ツイン機は1セット2台分で「2台」、トリプル機では、1セット3台分で「3台」と表示されます。)

●正しい台数以外の表示が出る場合は接続不良、またはノイズなどにより自動アドレスが正常に行われていません。一度電源を切り、次の箇所を点検して、正しい結線にしてください。(元電源のON-OFFは短時間(10秒以内)に繰り返さないでください。)

- ①室内ユニットの電源入れ忘れ、または電源配線不良。
 - ②室内ユニット間ケーブル、またはリモコンケーブルの接続不良。
 - ③ロータリースイッチ設定誤り。(設定が重複している。)
- (2. 配線接続要領 3) 項参照) を行った場合

注意

00台

が表示された場合に限り、自動アドレス中の場合もあります。一旦試運転モードを解除した後、再度試運転モードに切り換えてください。

□4) 試運転モードの解除

① 運転していない時は

リセット



スイッチを押します。

② 運転している時は

運転/停止



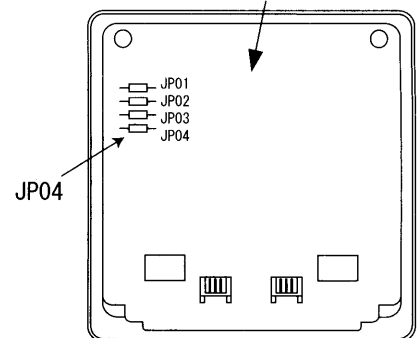
スイッチを押します。

【dd アラーム表示について】

複数台の室内ユニットを1つのリモコンスイッチで制御する際、誤った配線をする、運転開始時アラームコード“dd”の異常が発生する場合があります。本アラームが発生した場合、リモコンスイッチ-室内ユニット、室内ユニット-室内ユニット間の渡り配線のチェックを行い、配線に誤りがないかご確認ください。

配線に誤りがなく、アラームコード“dd”が表示する場合は、室内ユニットの電源を一旦切り、リモコンスイッチの制御基板上にあるジャンパ線(JP04)をニッパーなどで切断してから、再度電源を入れてください。

リモコンスイッチ制御基板



【かべかけ室内ユニット接続時のご注意】

本リモコンを下記の機種に使用される場合は、室内ユニットの電源を一旦切り、リモコンスイッチ制御基板上のJP03を切断し、再度電源を投入してください。(かべかけ室内ユニット専用のオートルーバ自動セット機能付状態となります。)

対象機種… RPK-35H(T) J5 ~ 50H(T) J5, RPK-35H(T) 5 ~ 100H(T) 5, RPK-35AJ5 ~ 50AJ5, RPK-35A5 ~ 100A5
 RPK-35H(T) J6S ~ 50H(T) J6S, RPK-35H(T) 6S ~ 100H(T) 6S, RPK-100H(T) P6S ~ 140H(T) P6S
 RPK-35AJ6S ~ RPK-50AJ6S, RPK-35A6S ~ RPK-100A6S

●オプション設定項目

(A)コード	名称	個別設定	(B)設定状態	(A)コード	名称	個別設定	(B)設定状態
b1	暖房設定温度補正解除	○	00:通常 01:解除	C9	オートレバ [®] -自動設定機能(表示のみ)	—	00:無効 01:有効
b2	暖房サーキュレータ	○	00:通常 01:有効	CA	予備	—	使用しません
b3	圧縮機3分オフガード	○	00:通常 01:有効	Cb	強制停止論理選択	×	00:A接点 01:B接点
b4	フィルタサイン時間	○	00~04 ※1	d1	電源発停1	○	00:無効 01:有効
b5	運転モード固定	×	00:通常 01:固定	d2	遠方パルス発停(表示のみ)	—	00:無効 01:有効
b6	設定温度固定	×	00:通常 01:固定	d3	電源発停2	○	00:無効 01:有効
b7	冷専固定	×	00:通常 01:固定	E1	換気モード	○	00~02 ※3
b8	冷暖自動機能	×	00:無効 01:有効	E2	給気風量アップ運転	○	00:無効 01:有効
b9	風量固定	×	00:通常 01:固定	E3	加湿器付き	○	00:不付 01:付き
C1	冷専ヒータ暖房	○	00:無効 01:有効	E4	予冷、予熱時間	○	00:なし 01:30分 02:60分
C2	ルームサーモ機能(表示のみ)	—	00:無効 01:有効	E5	外気-7℃以下時連続運転	×	00:無効 01:有効
C3	HA機能	○	00:無効 01:有効	F1	切りタイマー自動設定	×	00~24:0~24時間
C4	暖房時ドレンポンプ運転	○	00:無効 01:有効	F3	省エネ温度設定	×	00:有効 01:無効
C5	増速	○	00:無効 01,02:増速1,2	F4	省エネ冷房温度	×	19~30:19~30℃
C6	暖房サーモオフ時増速	○	00:無効 01:有効	F5	省エネ暖房温度	×	17~30:17~30℃
C7	圧縮機3分オフガード解除	○	00:標準 01:解除	F6	リモコン停止遅延機能	×	00:無効 01:有効
C8	リモコンサーモ	○	00:無効 01,02 ※2				

※1. 00:室内ユニット標準 01:100時間 02:1200時間 03:2500時間 04:表示無し

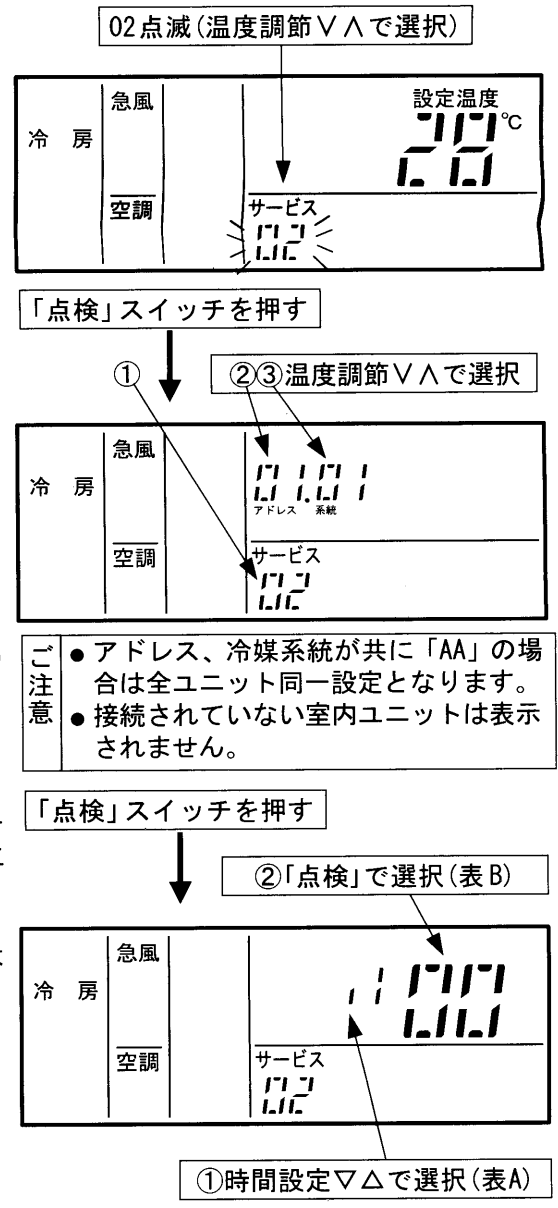
※2. 01:室内吸込サーミスタをリモコンサーモに切り換え 02:吸込サーミスタとリモコンサーモの平均値で制御

※3. 00:自動換気 01:全熱交換気 02:普通換気 (E1~E5は全熱交換器のオプション設定です。)

ご注意: J0型室内ユニット、かべかけJ1,2型、てんつりJ1型およびそれ以前の機種はb1~b9とF1のみ設定できます。その他の項目については室内ユニットプリント板のディップスイッチ、ジャンパ線での設定となります。

5. 室内ユニット入出力設定

- 1) 入出力設定モードへの切り換え
 ユニット停止中に、「点検」スイッチと「リセット」スイッチを同時に3秒以上押してください。現地設定モードに切り換わり「サービス」の文字が点灯し、その下に「01」が点滅表示されます。ここで温度調節「V」または「^」スイッチを押して「02」にしてください。この状態で「点検」スイッチを押すと入出力設定モードに切り換わります。
- 2) 入出力設定対象の室内ユニットの選択
 入出力設定モードに切り換わると右図のような表示になります。
 ①「02」の表示が点灯表示になります。
 ② 入出力設定対象となる室内ユニットのアドレスを表示します。
 ③ 入出力設定対象となる室内ユニットの冷媒系統アドレスを表示します。
 ここで温度調節「V」または「^」スイッチを押して設定対象の室内ユニットを表示させます。
 この状態で「点検」スイッチを押すと入出力設定状態表示に切り換わります。
- 3) 入出力設定項目と設定状態の変更
 入出力設定状態表示に切り換わると右図のような表示に切り換わります。
 ① 室内アドレス、冷媒系統表示が消灯し、入出力番号が表示されます。
 ② 設定内容がコードで表示されます。
 ここで時間設定「▽」または「△」スイッチを押すと入出力番号(01~03)が切り換わります。また「点検」スイッチを押すことにより、入出力設定状態(00~08)が切り換わります。入出力番号、設定内容については表A、表Bを参照してください。他のユニットに対して設定を行う場合は、温度調節「V」または「^」スイッチを押してください。□2)の入出力設定対象の室内ユニットの選択に戻ります。
- 4) 入出力設定モードの解除
 □2)または□3)の状態で「リセット」スイッチを押すと通常状態に戻ります。



●表A 入出力設定モードとコネクタの関係

設定番号	設定対象ポート	工場出荷時の設定
11	CN3 1-2番	遠方発停1
12	CN3 2-3番	強制停止後リモコン禁止
01	CN7 1-2番	運転
02	CN7 1-3番	警報
03	CN8 1-2番	暖房サーモオン

●表B 入出力信号と表示コード

表示	入力	出力
00	未設定	未設定
01	ルームサーモ(冷房)	運転
02	ルームサーモ(暖房)	アラーム
03	遠方発停1	冷房
04	遠方発停2(運転)	冷房サーモオン
05	遠方発停2(停止)	暖房
06	強制停止後リモコン禁止	暖房サーモオン
07	遠方冷暖切換	全熱交
08	昇降グリル入力	昇降グリル出力

ご注意

- 昇降グリル入力は、設定番号「12」のみ設定可能です。設定番号「11」には設定できません。
- 昇降グリル出力は、設定番号「01」、「02」のみ設定可能です。設定番号「03」には設定できません。
- リモコンスイッチのプリント板に設定内容記入欄がありますので、必ず設定内容を記入してください。
- J0型室内ユニット、かべかけJ1、2型、てんつりJ1型およびそれ以前の機種に対しては外部入出力の設定はできません。
- 全熱交換器に対して昇降グリル入出力の設定をしないでください。

北海道営業所 (011) 717-5301

北陸支店 (076) 429-4051

四国営業所 (087) 833-8701

北日本支店 (022) 266-1321

中部支店 (052) 251-0371

九州支店 (092) 561-4851

福島営業所 (024) 921-5550

関西支店 (06) 6531-9105

関東支店 (03) 6403-4511

中四国支店 (082) 240-6152

製造販売元：日立アプライアンス株式会社 空調事業部

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号(ニューピア竹芝サウスタワー)